各　位

令和４年５月26日
（公財）日本国際問題研究所

公開ウェビナーの御案内

ウクライナ危機と国連：その限界と可能性

国際社会は、ロシアのウクライナ侵略に直面した国連の限界と可能性を目の当たりにしている。

「国際の平和及び安全の維持に関する主要な責任」を負う（国連憲章第２４条１項）安全保障理事会は、ロシアの拒否権のため機能不全に陥り、常任理事国が紛争当事者となった場合の限界を改めて浮き彫りにした。一方、国連総会の緊急特別会合では、ロシア軍のウクライナからの即時撤退を求める決議が 141 カ国という圧倒的多数の賛成で採択された。決議には拘束力がないとはいえ、世界の国々を結集し国際的な世論を作り上げるという国連のソフト・パワーが発揮されたと言える。

国連人権理事会が独立委員会を設ける決議を採択し、国際刑事裁判所（ICC）が捜査開始を発表するなど、ロシアによる国際人道法違反の可能性を調査・追及する動きも始まっている。人道危機に直面する現場では、国境を越えた避難民のみでも 600 万人以上となるウクライナの人々を支援するため、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）や国連児童基金（UNICEF）などの人道援助機関が全力で活動を続けている。

ウクライナ危機に直面して浮き彫りとなったこのような国連の限界と可能性を受けて、日本は何を主張し実行すべきか。日本が目指す安保理改革をどのように進めるべきか。実務家とメディアの視点から議論する。

１．日 時：　**2022 年 6 月 16 日（木）14：00 - 15：30（日本時間）**

２．申込登録画面：　**参加をご希望の方は下記からお申し込みください。**

URL　https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_4HiOAoc_TsaZqv1tcvWi9w

３．プログラム：

モデレーター

- 市川とみ子・日本国際問題研究所所長

基調講演

- 中満泉 国連事務次長・軍縮担当上級代表

パネリスト

- 有馬裕・外務省総合外交政策局審議官
- セルギー・コルスンスキー駐日ウクライナ特命全権大使
- 森山毅・国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）・シニア緊急対応コーディネーター

コメンテーター

- 榎原美樹・NHK 国際放送局 World News 部エグゼクティブ・ディレクター

４．言語：　**日本語（日英同時通訳付）**

５．料金：　**無料**

６．お問い合わせ：　担当研究員：柳田健介 / 研究助手：園田弥生　Tel:03-3503-7801
E-mail: 220616webinar@jiia.or.jp

ウェビナー視聴に関する注意事項：

・ウェビナーに入室する際は参加登録時と同じお名前をご記入ください。

・Zoom の操作方法については、詳細なサポートは対応できかねます。詳しくは Zoom 公式 HP でご確認ください。

・ご使用になられる端末や接続環境により、機能の一部が利用できない場合もございます。・回線・機器の状況により通信が不安定になり、それを原因とした映像等の不具合が生じたりする可能性がございます。